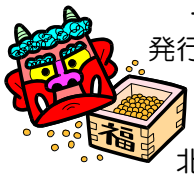
農業振興Cミニ通信



平成27年2月号
発行 神戸市農業振興センター
電話 975-5800
FAX975-6828
北分室 電話 982-7111

西区神出町上北古集落で里づくり計画が策定されました！

平成27年1月に西区神出町上北古集落において、農業振興や集落の活性化、農村景観の保全・形成等を目的に、キャッチフレーズを「日本一美しい村 上北古」とした上北古里づくり計画が策定されました。

上北古集落は、大鳥喰池からの眺めや市民花壇など、景観が美しく、また古くから農業が盛んで、伝統行事の「ふとん太鼓」を使った秋祭りが今でも盛大に行われるなど、活気と団結力の強い集落です。

しかし、集落では、後継者不足や生活環境など課題があります。

大学教授をアドバイザーとして交え、集落全員の意見を集約した里づくり計画を策定したことで、今後、これら課題解決に向けて統一した意思のもと活動を展開していきます。

分科会で話合った内容は
みんなの前で最後に発表

※計画に沿った活動に対して市が支援します！

里づくり計画に関するご相談は下記問い合わせ先まで。
農業振興センター ふる里振興係　朝生・内山
ＴＥＬ　０７８－９７５－６８４５

鳥インフルエンザ・口蹄疫が多発しています

昨年12月以降、国内では鳥インフル、海外では韓国や中国等で口蹄疫が多発しております。

再度のお願いになりますが、ペットも含む牛、馬、鶏、豚などの家畜を飼養されている皆様におかれましては、防疫に努めるとともに、家畜伝染病予防法に基づく定期報告書の提出をお願いいたします。

また、海外へ旅行される皆様においては、旅行先での畜産施設等への立入や家畜との接触を避けていただくとともに、立入・接触等された場合には、帰国の際に税関検査場内の動物検疫所カウンターへお立寄りくださいますようお願いいたします。

≪詳しいお問い合わせ・提出先≫
姫路家畜保健衛生所（姫路市香寺町中村595-15）
ＴＥＬ　（０７９）２４０－７０８５
ＦＡＸ　（０７９）２３２－２６８５
Ｈ　Ｐ　http://www31.ocn.ne.jp/~himejikaho/

イチゴ品種「神戸１号」の愛称が決まりました

愛称は「神戸ルージュ」

ルージュは、フランス語で赤や口紅、ほお紅の意味があります。

交易により洋風文化を積極的に取り入れて発展してきた神戸のハイカラなイメージを表現したもので、久元市長が命名しました。

「神戸１号」とは

旧神戸市北部指導農場で育成し、昭和35年に発表されたイチゴの品種です。

良好な品質が評価され、一時は露地栽培品種として兵庫県内のイチゴ産地で栽培されていましたが、施設栽培品種の普及とともに、生産地から姿を消してしまいました。そこで、大沢町では、市と締結した「パートナーシップ協定」を機とした、大沢農産物ブランド化への取組みとして、復活を目指してきました。

県下に残っていた株を基に、23年秋から増殖に取り組み、25年春には一般公募による試食会を実施し、食味評価を確認しつつ、栽培方法の検証も継続してきました。26年4月には、素材評価の確認のため、ショートケーキの素材として試験供給を行い、高評価を得ています。

試作品の写真

2月21日（土）から、スイーツ店ファクトリーシンの市内３店舗（三宮本店、神戸北店、そごう神戸店）において、土・日曜日の販売日限定でデビューします。

お近くへお越しの際はぜひお試しください。

農林業センサスへのご協力ありがとうございました

１月から２月にかけて行いました、農業者の国勢調査「農林業センサス2015」におきましては、調査員ならびに調査対象者の皆さまには、多大なご協力をいただきありがとうございました。

ご回答いただきました内容は、今後の農業施策に役立てていきます。